

## 女性の人生プランN通り ～多様な人生設計の実現に向けて～

金森万由子（兵庫県立北摂三田高等学校）

### はじめに

1997年以降、少子化の進行の始まりとともに色々な面での自立を目指す女性が増えました。そして今では女性一人当たりが三人以上の子供を産まなければ少子化は止められないと言われています。しかし、結婚せずにキャリアを伸ばしたいと考える人もいれば、早く出産結婚し専業主婦になりたいと考える人、仕事と子育ての両立を考える人もいます。要するに女性のライフプランは何通りと数えられない程多様化したと私は考えています。

そこで、私は少子化が進み、今ある子育て対策の中で女性が仕事、育児にできる限りとらわれることなく望むライフプランを実現できるように実際に身近な女性に人生設計についてのアンケートを取り、様々なライフプランを試行しました。

### 調査方法

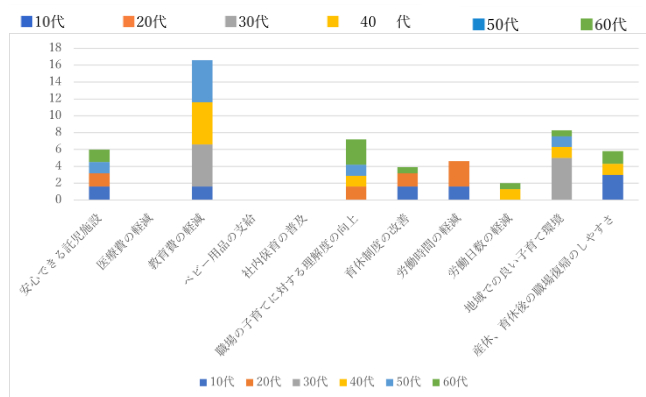
#### ①アンケート調査

身近にいる成人女性 50 人を対象として Googleform にてアンケート調査を行った。

### 結果と考察

・出産願望があると回答した人に女性一人あたり三人以上の子供を産まなければ少子化はとめられないという事実を知っていただいた上で三人以上の出産願望がある人は **0%** でした。

出産願望がある、既に子供がいると回答した人に子育て環境で重要視するもの一つを選んでもらった結果（下図）



・60代の回答の中で一番高かった項目が職場の理解度の向上だった。（30%）

→この年代の女性は当時職場と子育ての両立に考え方が浸透していなかったことに悩んでいたと考えられる。

・30代、40代、50代の育児中または育児を終えた女性の回答で多かった項目が教育費の軽減だった（それぞれ50%）

→1973年以降教育費は上昇し続けており、子育てを経験している人は教育費の面で悩みを抱えることが多かったと考えられる。

安心できる託児施設の普及や、教育費など子どもに直接関係する問題点の改善と、職場復帰のしやすさなどの子育てと仕事の結びつきの強化が必要だと感じた。保育所と同等の支援が受けられる社内保育所が出来れば需要もさらに高まるのではないかと感じた。また通勤途中に預けられる駅型保育園の普及も視野に入れて考えていきたい。